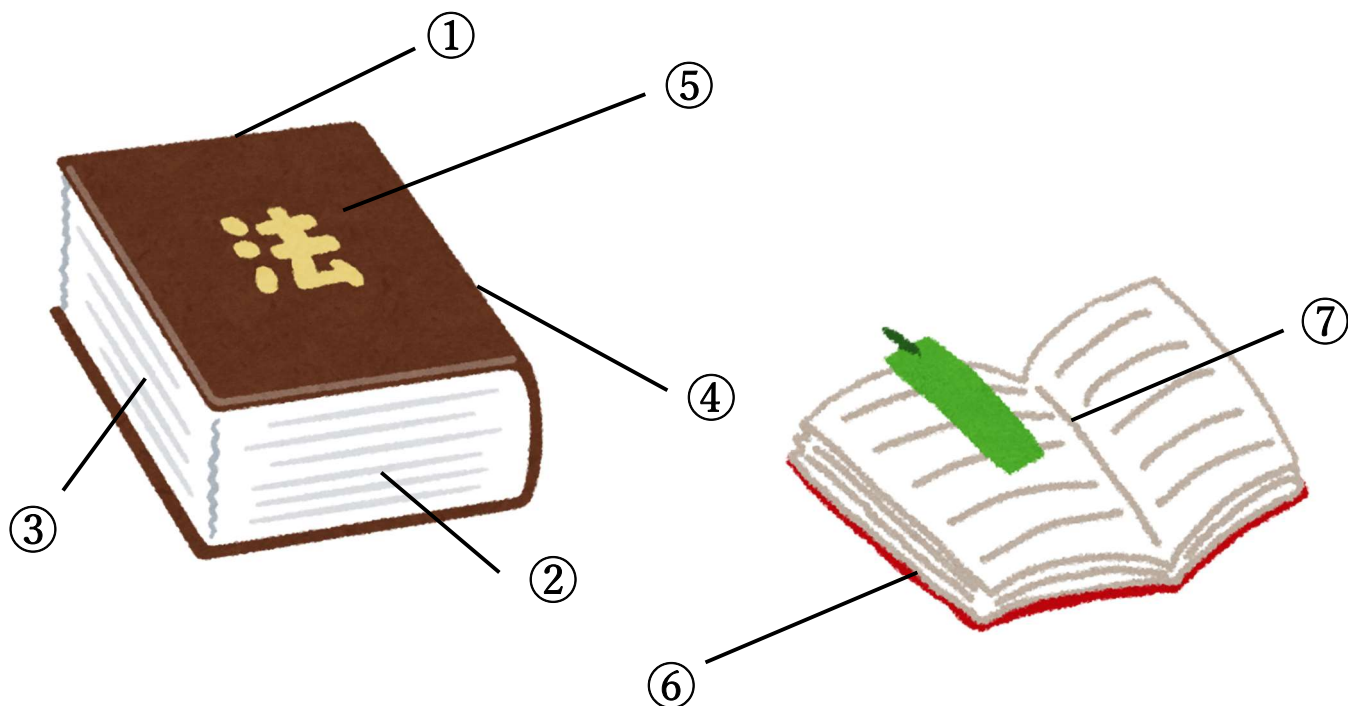


本の修理をしてみよう！

1. まずは本のしくみを知ろう



① 天^{てん}…本の上の部分のこと。

② 地^ち…本の下の部分のこと。

③ 小口^{こくち}…本を開く側^{かわ}の切り口になっている部分のこと。

④ 背^せ…本を束ねている部分のこと。

⑤ 表紙^{ひょうし}…本の一番外側にある部分のこと。表は表紙、後ろにあるのは裏表紙です。本を守る役割があります。

⑥ 見返し^{みかえ}…本の中身と表紙をつなぎ合わせるための紙のこと。

⑦ のど…本をとじている部分のこと。

2. 修理に使う道具は？

- ① 木工用ボンド…本ののどをくっつけるときによく使います。完全にくっつくまでに時間が（デンプンのり）かかります。ボンドは固定するには強すぎるので、ほんの少し水を加えて使う方がよいとされています。
- ② 修理用テープ…普通のセロハンテープを使うと、はがれてきたり、変色したりします。図書館では、変色せずに破れないテープを使います。
- ③ 紙やすり…あまり使いませんが、本によごれがついているときに使うことがあります。
- ④ 消しゴム…黒ずんだよごれやえんぴつなどのラクガキがあるときに使います。

このほかにもたくさんあります。

3. こんな時にはどう修理する？

- ① 紙が破れちゃった！
⇒修理用テープやボンドを使ってくっつけます。セロテープがついているときは、セロテープをはがします。
- ② 本ののどが割れちゃった！
⇒いろいろな修理のやり方がありますが、ボンドやのりを使ってくっつけることが多いです。
- ③ 本が雨でぬれちゃった！
⇒ぬれた部分に紙をはさんで重しをおいて水分をとります。ドライヤーで乾かそうとすると、紙がごわごわになるので、絶対にやめましょう！

修理が必要な本を用意したので、さっそく修理してみましょう！

わからないときは、図書館の人か、堺図書館サポーター倶楽部の人に聞いてみてください。